

令和4年度水稻病害虫発生情報 第2号（7月下旬）

斑点米カメムシ類及びセジロウンカが多く見られています。
今後も増加が見込まれるため、本田防除を徹底しましょう。

1 葉いもち【発生量：少ない】

- (1) 7月下旬の巡回調査（県内63地点）では、西北地域の2ほ場で発生が認められたが、その他の地域では発生が確認されず、県全体の発生地点率、発病度は平年より低かった。
- (2) 地域県民局の報告では、7月15日に七戸町で、7月21日に東通村で、7月27日に鰯ヶ沢町でそれぞれ初発が確認されている。

表1 7月下旬巡回調査における葉いもちの発生状況

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率 (%)					発生地 点率(%)	発病度
			甚(>70)	多(>40)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	0	5.7	94.3	5.7	0.1
	前年	35	0	0	0	0	100	0	0
	平年	35	0	0	1.9	16.4	81.7	18.3	1.0
県南	本年	28	0	0	0	0	100	0	0
	前年	28	0	0	0	3.6	96.4	3.6	0.0
	平年	31	0	0.6	0	7.3	92.1	7.9	0.5
県計	本年	63	0	0	0	3.2	96.8	3.2	0.1
	前年	63	0	0	0	1.6	98.4	1.6	0.0
	平年	66	0	0.3	0.9	12.6	86.1	13.9	0.8

2 斑点米カメムシ類

(1) アカヒゲホソミドリカスミカメ【発生量 津軽地域：多い 県南地域：やや多い】

- ① 県内3か所（青森、木造、八戸）に設置した予察灯における第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、7月の誘殺数は青森、八戸で平年並、木造で平年より少なく推移している。（図1）。
- ② 定点調査ほ場（青森、木造、鶴田、十和田、七戸、八戸）の畦畔に設置した性フェロモントラップにおける第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、7月の誘殺数は青森、木造、十和田、七戸で概ね平年並、鶴田及び八戸で平年より少なく推移している。（図2）。
- ③ 7月下旬の巡回調査における本田の発生地点率は、津軽地域、県南地域ともに平年より低く、すくい取りによる捕獲数は、両地域とも平年より少なかった。畦畔の発生地点率は、津軽地域、県南地域ともに平年より高く、すくい取りによる捕獲数は津軽地域で平年より多く、県南地域で平年よりやや多かった。（表2、3）。

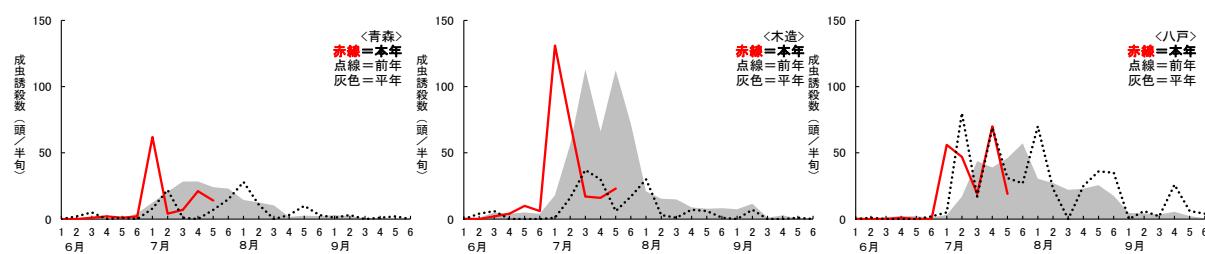


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

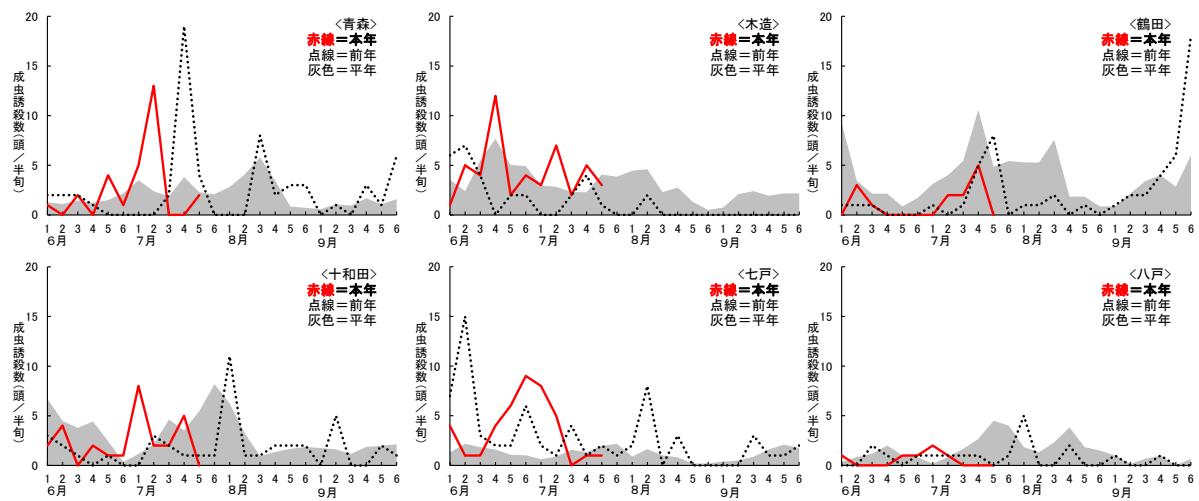


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去7か年、八戸が前6か年の平均値。

表2 7月下旬巡回調査におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの捕獲虫数（本田すくい取り）

地域	年次	調査地点数	程度別発生地点率(%)					発生地点率(%)	平均捕捉数
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	0	2.9	97.1	2.9	0.03
	前年	35	0	0	0	11.4	88.6	11.4	0.14
	平年	35	0	0	1.2	14.1	84.7	15.3	0.23
県南	本年	28	0	0	0	3.6	96.4	3.6	0.07
	前年	28	0	0	0	10.7	89.3	10.7	0.14
	平年	31	0	0.3	0.6	7.5	91.6	8.4	0.23
県計	本年	63	0	0	0	3.2	96.8	3.2	0.05
	前年	63	0	0	0	11.1	88.9	11.1	0.14
	平年	66	0	0.2	1.0	10.9	87.9	12.1	0.24

表3 7月下旬巡回調査におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの捕獲虫数（畦畔すくい取り）

地域	年次	調査地点数	程度別発生地点率(%)					発生地点率(%)	平均捕捉数
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	2.9	28.6	45.7	17.1	5.7	94.3	9.0
	前年	34	5.9	5.9	17.6	20.6	50.0	50.0	8.4
	平年	35	3.8	5.4	18.1	26.9	45.8	54.2	5.2
県南	本年	28	0	17.9	28.6	35.7	17.9	82.1	5.5
	前年	27	11.1	14.8	18.5	37.0	18.5	81.5	8.3
	平年	30	2.5	5.2	13.4	29.6	49.3	50.7	3.8
県計	本年	63	1.6	23.8	38.1	25.4	11.1	88.9	7.5
	前年	61	8.2	9.8	18.0	27.9	36.1	63.9	8.3
	平年	65	3.8	6.1	16.1	28.8	45.2	54.8	5.0

(2) アカスジカスミカメ【発生量 津軽地域：やや多い 県南地域：平年並】

- ① 予察灯における越冬世代成虫の誘殺時期は概ね平年並であり、7月の誘殺数は青森及び木造で平年並、八戸で平年よりやや多く推移している（図3）。
- ② 性フェロモントラップにおける越冬世代成虫の誘殺時期は概ね平年並であり、誘殺数は津軽地域で平年より多く、県南地域では平年より少なく推移している（図4）。
- ③ 7月下旬の巡回調査における本田の発生地点率は、津軽地域で平年より低く、県南地域で平年よりやや高かった。すくい取りによる捕獲数は、津軽地域で平年より少なく、県南地域で平年より多かった。畦畔の発生地点率は、津軽地域、県南地域ともに平年より高く、すくい取りによる捕獲数は、津軽地域で平年よりやや多く、県南地域で平年並であった（表4、5）。

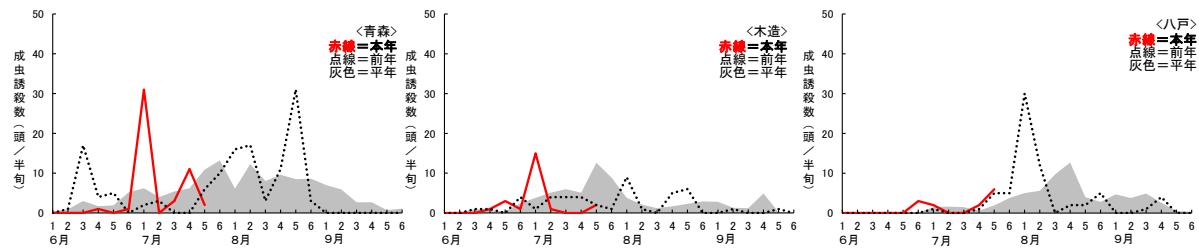


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

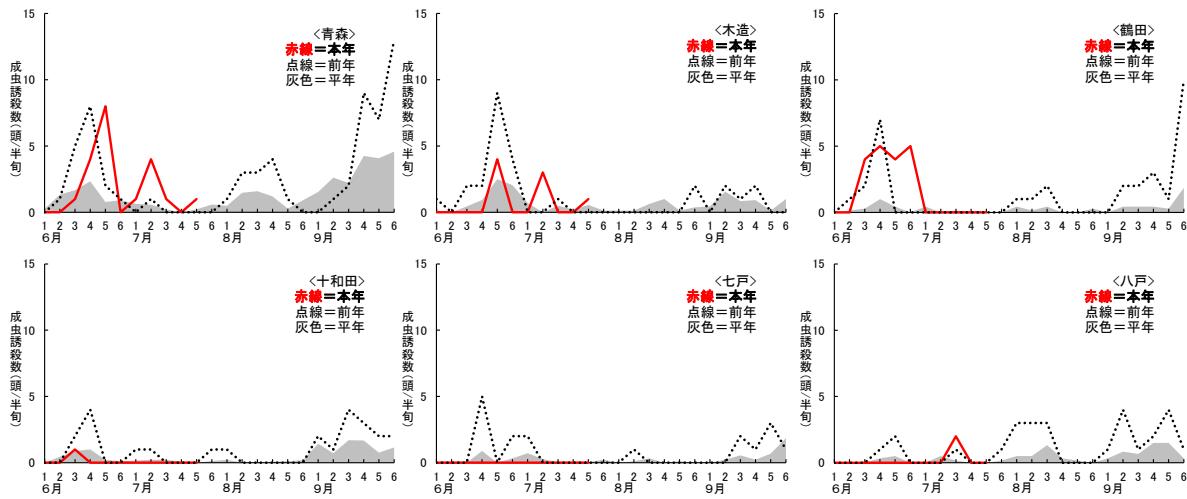


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸が過去9か年、木造が過去8か年、鶴田が過去7か年、八戸が過去6か年の平均値。

表4 7月下旬巡回調査におけるアカスジカスミカメの捕獲虫数（本田すくい取り）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	平均 捕捉数
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	0	0	100	0	0
	前年	35	0	0	0	2.9	97.1	2.9	0.06
	平年	35	0	0	0	1.1	98.9	1.1	0.02
県南	本年	28	0	0	0	3.6	96.4	3.6	0.11
	前年	28	0	0	3.6	7.1	89.3	10.7	0.25
	平年	31	0	0	0.4	2.4	97.3	2.7	0.05
県計	本年	63	0	0	0	1.6	98.4	1.6	0.05
	前年	63	0	0	1.6	4.8	93.7	6.3	0.14
	平年	66	0	0	0.3	1.8	97.8	2.2	0.04

表5 7月下旬巡回調査におけるアカスジカスミカメの捕獲虫数（畠畔すくい取り）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	平均 捕捉数
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	14.3	5.7	22.9	57.1	42.9	3.6
	前年	34	5.9	0	5.9	14.7	73.5	26.5	3.6
	平年	35	3.1	2.2	2.3	9.2	83.2	16.8	2.3
県南	本年	28	3.6	3.6	3.6	21.4	67.9	32.1	2.5
	前年	27	11.1	7.4	7.4	14.8	59.3	40.7	14.1
	平年	30	1.1	5.1	3.7	7.6	82.4	17.6	2.3
県計	本年	63	1.6	9.5	4.8	22.2	61.9	38.1	3.1
	前年	61	8.2	3.3	6.6	14.8	67.2	32.8	8.3
	平年	65	2.7	3.4	3.1	9.1	81.7	18.3	2.8

3 コバネイナゴ【発生量：やや少ない】

- (1) 7月下旬の巡回調査における発生地点率は、津軽地域、県南地域とともに平年並であり、食害度は津軽地域で平年よりやや低く、県南地域で平年並であった。(表6)。
- (2) 本田のすくい取り調査では、津軽地域で中齢～老齢幼虫、県南地域で若齢～中齢幼虫が捕獲された。津軽地域における発生地点率は平年並であり、捕獲虫数は平年より少なかった。県南地域における発生地点率は平年より高く、捕獲虫数は平年並であった。

表6 7月下旬巡回調査におけるコバネイナゴの食害状況

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	食害度
			甚(>70)	多(>40)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	2.9	85.7	11.4	88.6	6.9
	前年	35	0	0	17.1	74.3	8.6	91.4	9.5
	平年	35	0	0	17.4	70.3	12.3	87.7	8.8
県南	本年	28	0	0	0	53.6	46.4	53.6	1.6
	前年	28	0	0	0	57.1	42.9	57.1	2.3
	平年	31	0	0	0	52.4	47.6	52.4	1.6
県計	本年	63	0	0	1.6	71.4	27.0	73.0	4.5
	前年	63	0	0	9.5	66.7	23.8	76.2	6.3
	平年	66	0	0	9.2	63.3	27.6	72.4	5.5

表7 7月下旬巡回調査におけるコバネイナゴの捕獲虫数（本田すくい取り）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	捕捉数
			甚(>100)	多(>50)	中(>25)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	2.9	8.6	68.6	20.0	80.0	8.0
	前年	35	2.9	5.7	14.3	62.9	14.3	85.7	16.4
	平年	35	2.6	5.2	11.4	64.1	16.7	83.3	16.6
県南	本年	27	0	0	0	74.1	25.9	74.1	2.0
	前年	27	0	0	0	66.7	33.3	66.7	1.4
	平年	31	0	0.3	0.3	47.0	52.3	47.7	1.9
県計	本年	63	0	1.6	4.8	69.8	23.8	76.2	5.3
	前年	63	1.6	3.2	7.9	65.1	22.2	77.8	9.8
	平年	66	1.4	3.0	6.2	57.1	32.3	67.7	9.8

4 フタオビコヤガ【発生量：やや少ない】

- (1) 7月下旬の巡回調査における発生地点率及び食害度は、津軽地域で平年並であり、県南地域で平年より低かった(表8)。
- (2) 本田のすくい取り調査での発生地点率は県全体で平年より低く、県全体の捕獲虫数は平年より少なかった(表9)。

表8 7月下旬巡回調査におけるフタオビコヤガ被害（食害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	食害度
			甚(>70)	多(>40)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	0	57.1	42.9	57.1	2.3
	前年	35	0	0	0	71.4	28.6	71.4	3.9
	平年	35	0	0	1.7	53.4	44.9	55.1	2.9
県南	本年	28	0	0	0	28.6	71.4	28.6	1.3
	前年	28	0	0	3.6	71.4	25.0	75.0	4.4
	平年	31	0	0	2.3	57.5	40.2	59.8	3.0
県計	本年	63	0	0	0	44.4	55.6	44.4	1.9
	前年	63	0	0	1.6	71.4	27.0	73.0	4.1
	平年	66	0	0	2.0	56.5	41.6	58.4	3.1

表9 7月下旬巡回調査におけるフタオビコヤガ幼虫の捕獲虫数（本田すくい取り）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	捕捉数
			甚(>100)	多(>50)	中(>25)	少(>0)	無		
津軽	本年	35	0	0	2.9	14.3	82.9	17.1	1.3
	前年	35	0	0	0	77.1	22.9	77.1	4.5
	平年	35	0.6	0	1.4	51.8	46.2	53.8	3.5
県南	本年	28	0	0	0	28.6	71.4	28.6	1.3
	前年	28	0	0	0	75.0	25.0	75.0	4.1
	平年	31	0	1.6	2.4	54.9	41.1	58.9	4.6
県計	本年	63	0	0	1.6	20.6	77.8	22.2	1.3
	前年	63	0	0	0	76.2	23.8	76.2	4.3
	平年	66	0.3	0.6	1.5	54.6	43.0	57.0	3.9

5 ウンカ類【発生量：多い】

本田のすくい取り調査での発生地点率は、津軽地域、県南地域ともに平年より高く、捕獲虫数は平年より多かった（表10）。種別では、セジロウンカが平年より多く、ヒメトビウンカは平年より少なかった。また、トビイロウンカは確認されなかった。

表10 7月下旬巡回調査におけるウンカ類の捕獲虫数（本田すくい取り）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率(%)					発生地 点率(%)	捕捉数
			甚(≥701)	多(≥301)	中(≥101)	少(≥1)	無		
津軽	本年	35	0	0	0	60.0	40.0	60.0	3.2
	前年	35	0	0	0	17.1	82.9	17.1	1.1
	平年	35	0	0	0	41.6	58.4	41.6	1.4
県南	本年	27	0	0	0	74.1	25.9	74.1	2.9
	前年	27	0	0	0	37.0	63.0	37.0	1.6
	平年	31	0	0	0	50.0	50.0	50.0	1.9
県計	本年	63	0	0	0	66.7	33.3	66.7	3.1
	前年	63	0	0	0	25.4	74.6	25.4	1.3
	平年	66	0	0	0	45.7	54.3	45.7	1.6

6 その他の病害虫

- (1) 7月下旬の巡回調査において、ばか苗病及び紋枯病は確認されなかった。
- (2) ニカメイガ及びコブノメイガの被害株は確認されていない。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナ感染拡大防止

<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>



【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：技師 濱端 駿
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900